

【2. 選択必修領域:学校を巡る組織的課題】

講習内容							
学校をとりまく社会の著しい変化に伴い、学校教育には新たな課題が次々に生じています。そして、その課題解決のためには、学校組織マネジメントの導入が不可欠になっています。具体的な課題をいくつか取り上げながら、学校においてどのように教職員が組織的に対応をしていったらよいのか、理論と実際から検討していきます。							
講座	講座テーマ	内 容			受講対象	時間	担当者
		講座概要	到達目標	キーワード			
2-①	教職員の協働と学校づくり	学校教育の中心的な役割を担う学級担任をはじめとする一般教員の観点から、組織マネジメントの考え方や手法を提供することにより、協働的な学年・学級経営や授業づくりの理論的基礎を獲得するとともに、変化に対応した新しい学校づくりに貢献する職能を開発し、学校経営への協働参画システムの構築に資することを目的とする。	効果的な教育組織づくりを進める上で、 1. 目指す組織イメージがどのようなものか？ 2. 基本的な問題がどこにあるのか？ 3. その問題解決に有効な考え方や手法について見通しが立ちうるのか？ が、自ら見いだしうるようになる。	「学校組織開発」 「目標管理」 「ミドル・アップダウン」	小・中・高 全教諭	3	木岡 一明
2-②	組織的対応の実践と課題 ー 組織間連携による教育活動の充実 ー	学校をめぐる様々な課題の解決や学校改善にむけて、個々の教職員レベルではなく学校が組織として対応することが、これまで以上に求められている。そこで、まず関連する政策動向と理論の概要を理解する。そして、いくつかの事例検討を通して、実践上の方法と課題を考えていく。	学校が抱える課題への組織的対応について、 1. 教育政策の動向を理解できる。 2. 組織間連携の類型を理解できる。 3. 職場に照らして組織的対応のイメージができる。	学校改善 目的、活動の共有と関係性 コーディネーター 機能 ネット 連携 組織間	小・中・高 全教諭	3	片山 信吾